

『流通BMSのインフラ活用』 ～金融EDI～



2019年 6月 14日

流通BMS協議会 事務局

一般財団法人 流通システム開発センター

一般財団法人 流通システム開発センターのご紹介

- 所在地：東京都港区赤坂7-3-37 プラス・カナダ
- 設立：1972年4月

■ 日本における流通システムの標準化を推進

- コード
 - × 商品を識別するコード（GTIN）、場所を識別するコード（GLN）
- データキャリア
 - × データを自動読取りするための手段
（バーコード、2次元シンボル、RFID（電子タグ）など）

● EDI

× 電子データ交換のための通信やデータの取決め

- データベース・サービス
 - × 商品マスタ情報、POS売上情報
- 各種協議会、研究会の運営

× 流通BMS協議会、GS1ヘルスケア協議会、製・配・販連携協議会、知研、F研、S研

■ 標準化は国際標準にできるだけ準拠

- GS1（世界の110以上の国と地域が参加）に加盟



■消費財流通業界における最新のEDI標準

- ▶ 2008年度まで経済産業省の委託事業として、

時代に即したインフラを使用した新たなEDI標準

を策定する事により、現状の問題・課題を解決し、より効率的且つ高度な企業間における情報交換・連携を実現することを目的として進められた。

■小売のさまざまな取引形態に対応

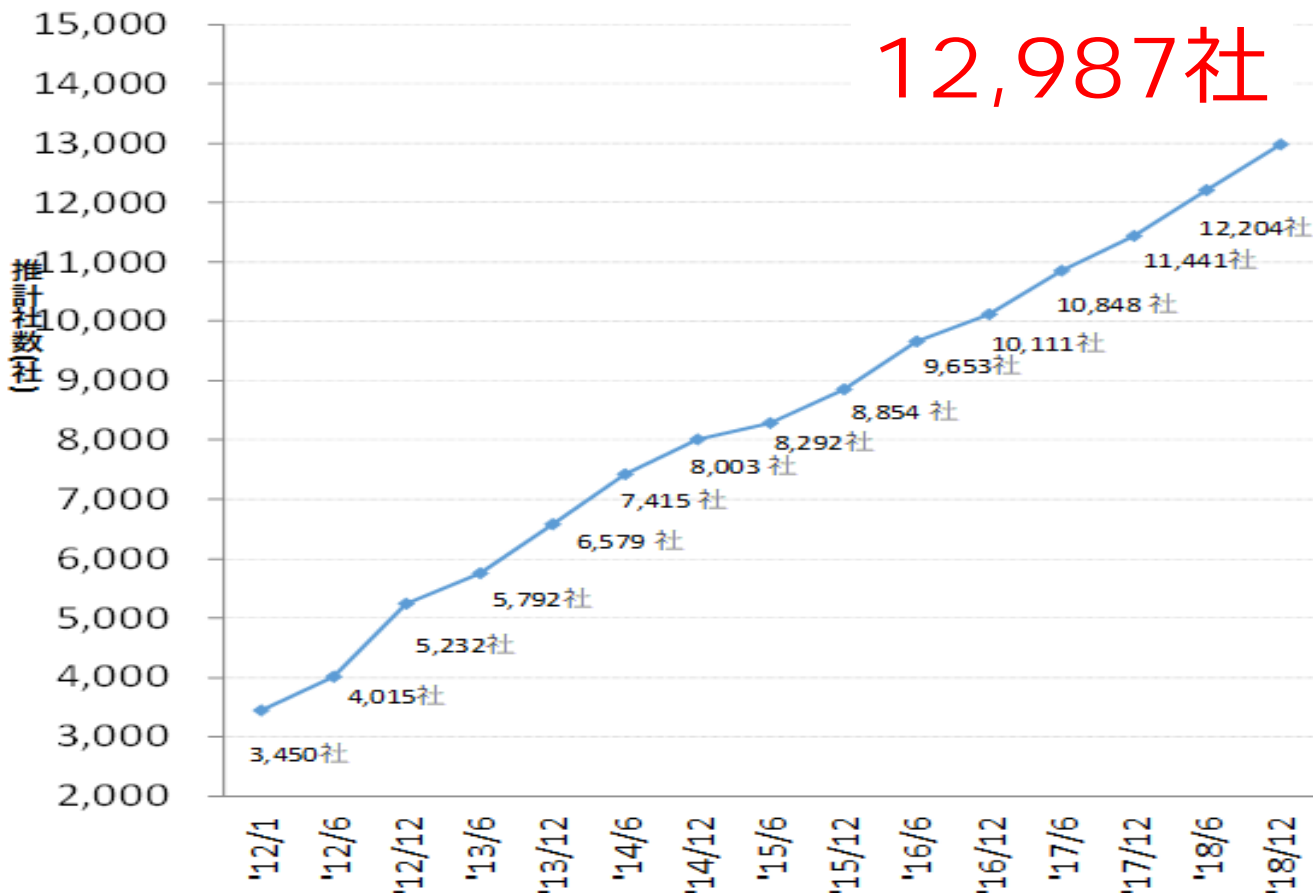
- ▶ 小売業態の特性に対応
 - ✓ 基本形メッセージ（スーパー、ドラッグストア、ホームセンターなどの取引）
 - ✓ 百貨店版メッセージ（百貨店の取引）
- ▶ 業種の特性に対応
 - ✓ 基本はグロサリー（食品や日用品・化粧品・一般用医薬品）の受発注型
 - ✓ その他、アパレル、生鮮品特有の取引や預り在庫型センター取引に対応

■物流ラベルや付帯帳票の標準モデルも作成

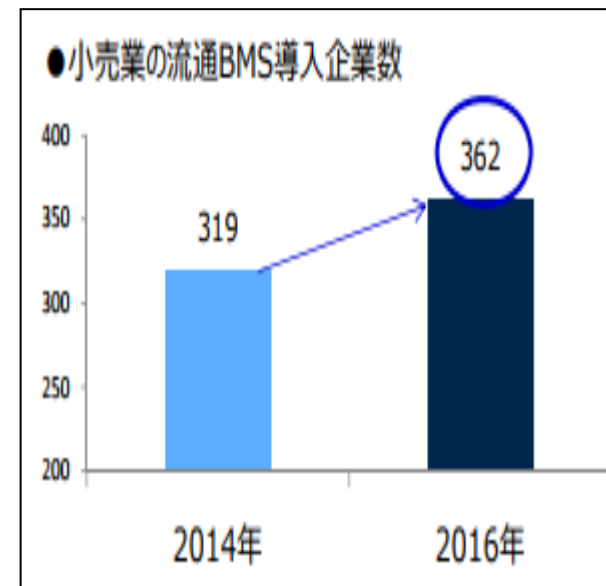
- ▶ SCMラベル、個口納品書、納品明細書、欠品連絡書

0-2. 普及状況と普及活動【導入企業数】

卸・メーカーの導入企業数推移



小売の導入企業数
362社以上※2



2016年度 情報志向型卸売業研究会
研究委員会 報告資料より一部抜粋

※ 1 支援会員企業の中から主要な通信ソフトベンダーとサービスベンダーの協力を得て、半年毎に通信ソフトウェア出荷本数とサービス接続先数を提供してもらい、その結果から導入企業数を推計している。

※ 2 グロサリ卸で組織された情報志向型卸売業研究委員会（略称：卸研）にて調査した『小売の業態別企業規模別普及状況』より

1-1. 情報システム化による業務改革の流れ！

□POSの導入

- キャッシュャーのスキル及び責任の低減

□取引先との受発注をEDI化

- 受発注内容の精度向上及び効率化

□物流センター及び物流業務の改革



□? もうコスト削減できる業務は無い?

1-2. 情報システム化が進んでいない業務は？

□ 経理業務？

● 請求・支払と売掛・買掛の突合せ業務

✕ 請求金額と入金金額が不一致なため

自動突合・消込処理でエラー

⇒ 振込及び各種手数料が引かれた！などの入金

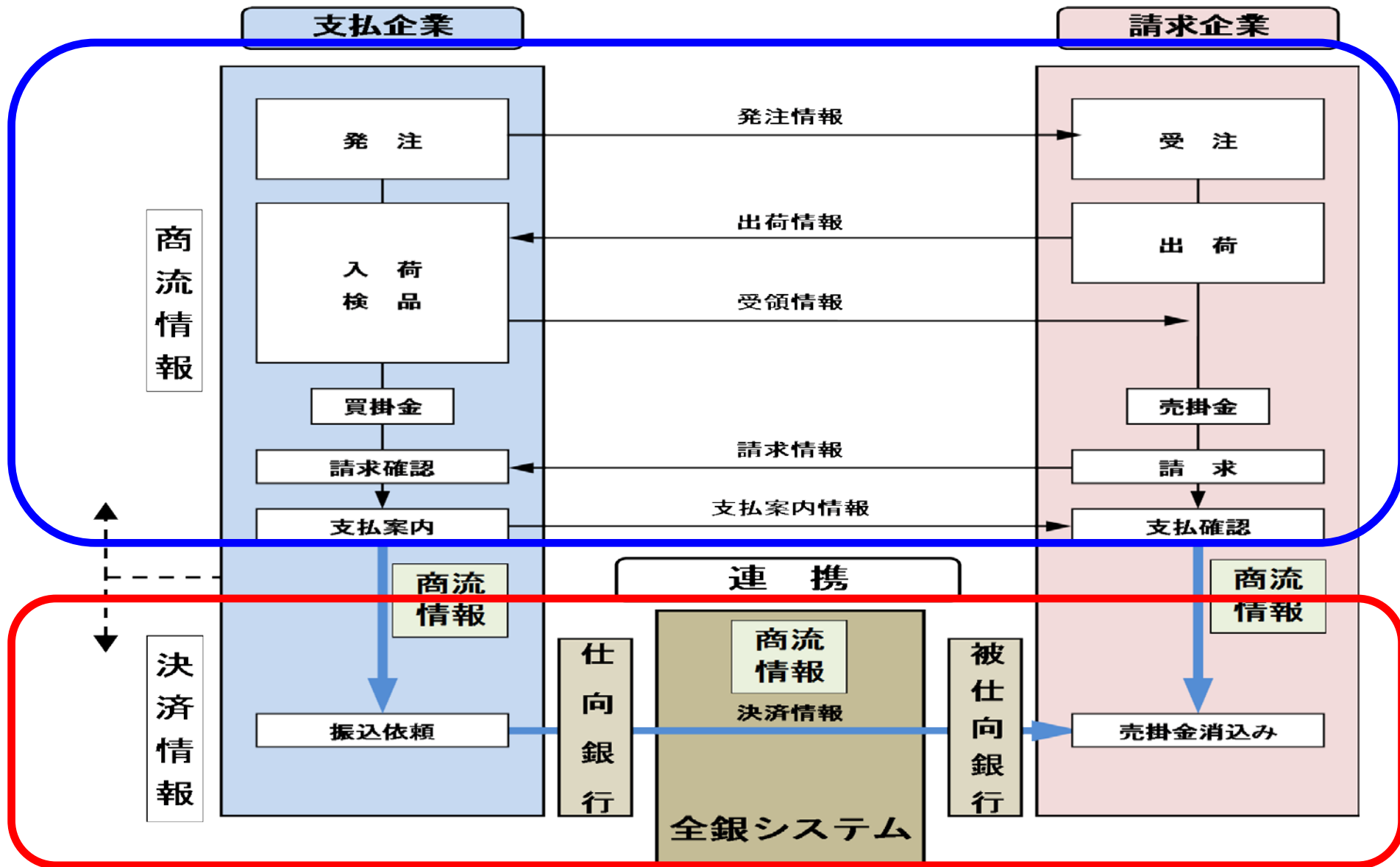
➤ 支払案内情報の送付でカバー

➤ 振込手数料（一定範囲）の誤差を突合プログラムに設定しカバー

● 各種経費処理の確認作業

✓ 口座に入金された金額が何なのか？

✓ 口座から自動引き落としされた金額は何なのか？



(出所) 「企業決済高度化研究会」報告書(2012年4月24日)

1-3. 金融EDIの何が変わる？

“EDI情報欄”の桁数が変わる
⇒ 付加情報量が増加 = 突合の情報項目が増える



□共同実証の目的

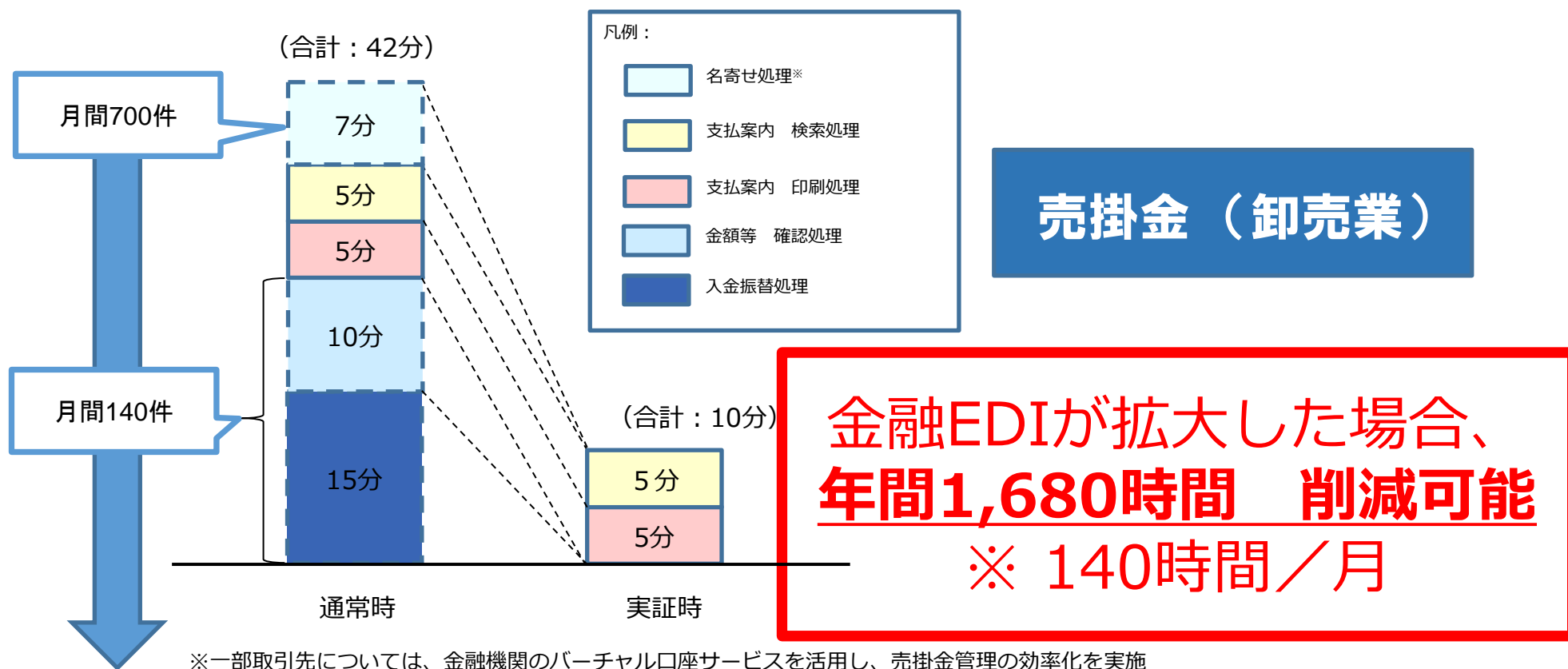
- 流通業界における決済（入金処理）業務の効率化の検証
銀行を經由する金流情報への添付拡張を実現することにより、企業の
消込等業務効率化の検証を行うこととする。
- **売掛金消込業務、販売条件・リベート入金管理、
（経費消込）業務**において、
総合振込 (Pain) と振込入金通知 (Camt) のEDI情報欄を活用すること
による効率化の検証を行う。

**✓EDI情報欄を使用して、
より確率の高い自動突合を行うために、
現状では不足している“いつ、誰から、何の為の金”
であるかという情報を交換する。**

2-2. 2014年度 共同実証 結果①

☆参加企業の中で象徴的な効果を得られた検証結果

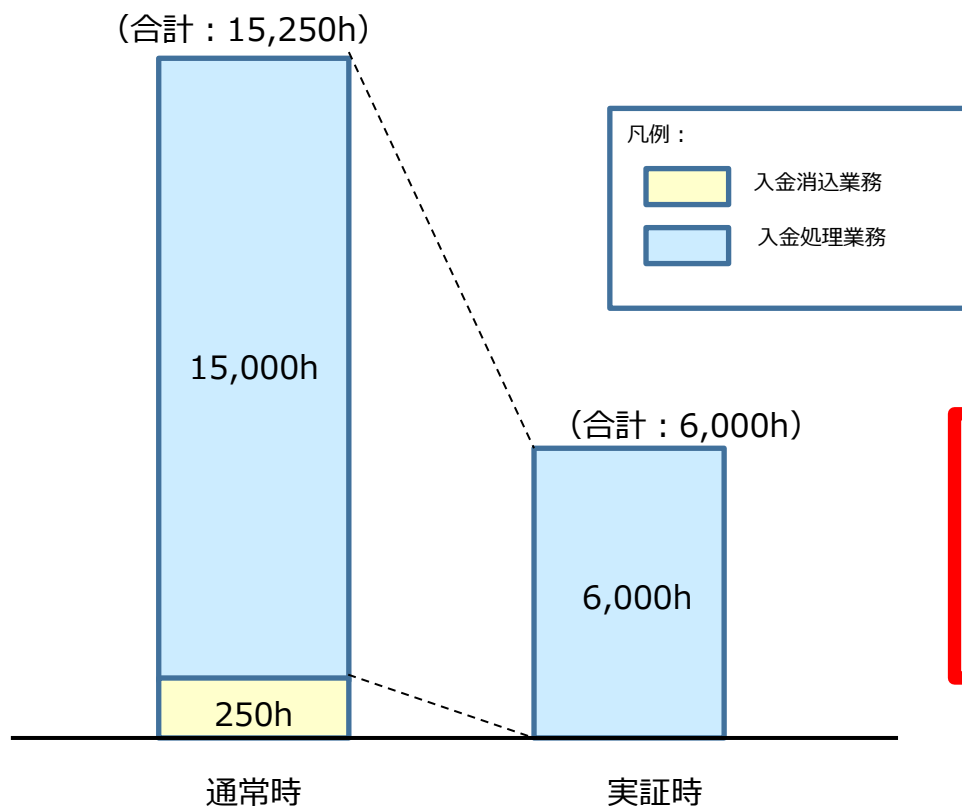
振替処理に係る1件あたりの処理時間の比較



2-2. 2014年度 共同実証 結果②

☆参加企業の中で象徴的な効果を得られた検証結果

振替処理に係る年間の処理時間の比較



販売条件・リベート
(小売業)

年間9,250h (61%) の
作業工数の削減が可能

<参考> EDI情報欄「売掛消込」(2018.12登録)

データ項目	桁数	備考	必須/任意
業務区分	3	“001” (業界を表すコード)	必須
データ区分	3	“001” (売掛消込)	必須
請求取引先コード	13	BMSの請求取引先コード	必須
支払法人コード	13	BMSの支払法人コード	必須
発注者コード	13	BMSの発注者コード	必須
請求書番号	10	BMSの請求書番号	必須
支払内容	4	BMSの支払内容	任意
対象期間終了(締め日)	8	締め日	必須
支払金額	10	実入金額の内訳	必須
自由使用欄	63	伝票番号、店舗コード他	任意

<参考> EDI情報欄「販売条件・リベート」(2018.12登録)

データ項目	桁数	備考	必須/任意
業界区分	3	“001” (業界を表すコード)	必須
データ区分	3	“002” (リベート)	必須
請求取引先コード	13	BMSの請求取引先コード	必須
支払法人コード	13	BMSの支払法人コード	必須
発注者コード	13	BMSの発注者コード	必須
契約番号 (小売)	20	リベート契約単位の契約番号	必須
契約番号枝番 (小売)	5	契約番号の枝番 (行No.、約定No.等)	任意
契約対象終了日	8	契約終了日	必須
支払締日	8	支払締日 (請求締日)	必須
入金金額	10	実入金金額の内訳	必須
契約件名	26	契約件名 (全角)	必須
自由使用欄	18	税区分、税率、取引先電話番号、担当者名、他	任意

3. 普及拡大に向けて

□EDI情報欄のパターン拡大

- 実証でおこなった経費処理（宅配事業者利用時）や、各種自動引落しの自動突合など

□EDI情報欄のXML化

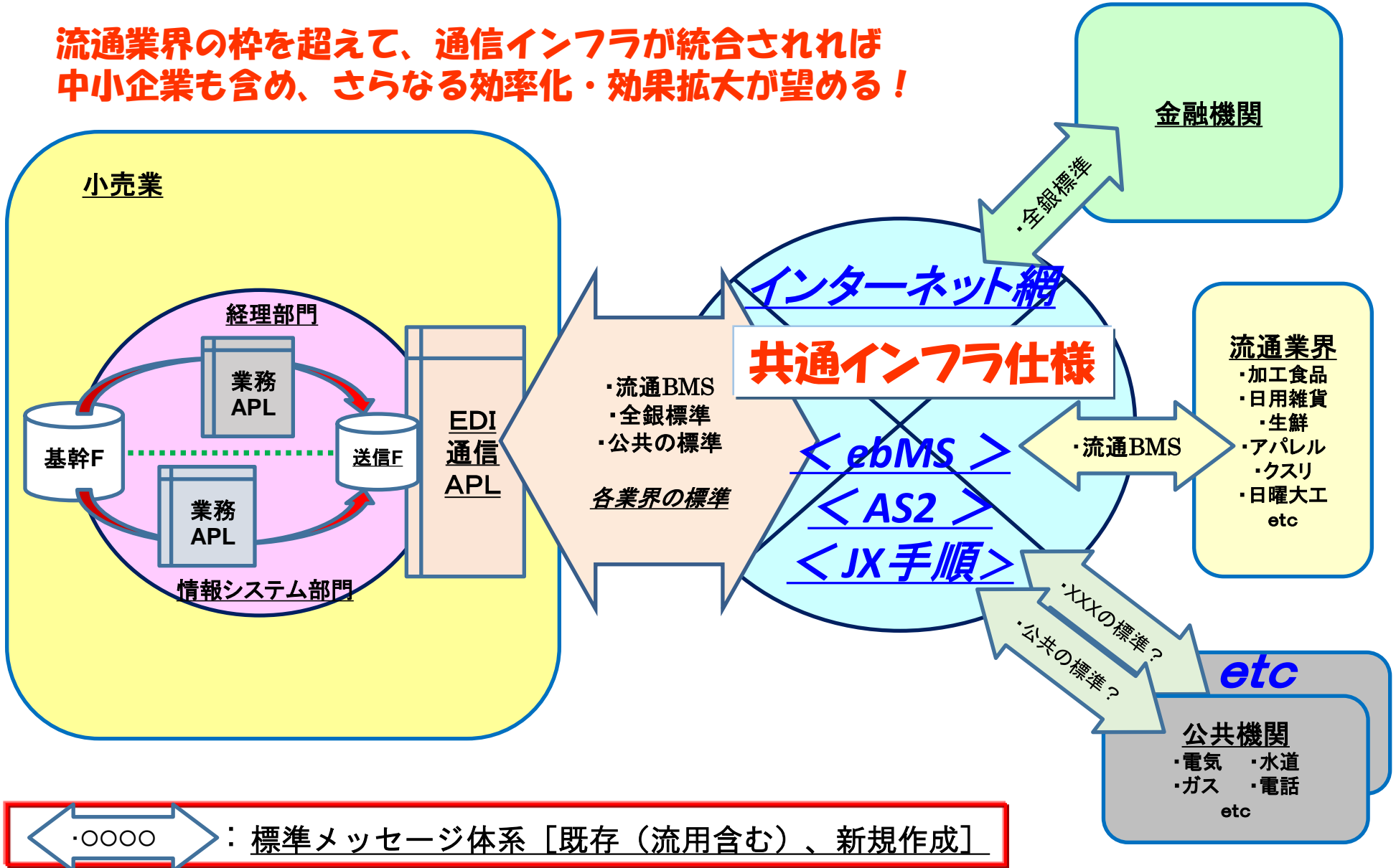
- 現行の固定長及び活用分野を拡大したパターンを含めた、共通で利用できるようなXMLスキーマの策定

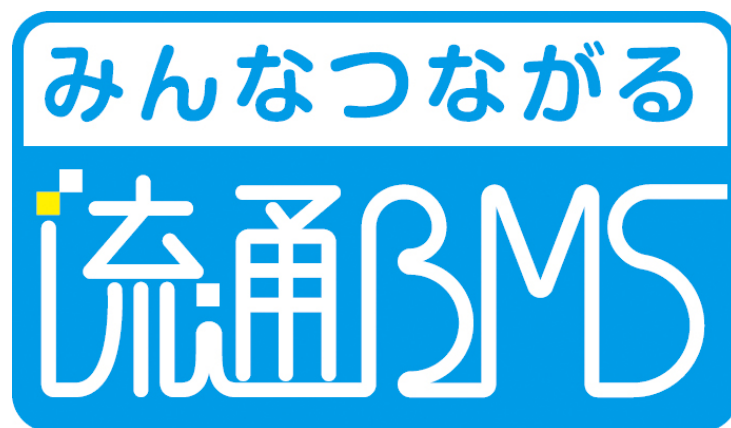
□ZEDI対応メッセージの拡大

- 現行の固定長メッセージのXML化
✓ 給与振り込み e t c

業界を越えた企業間情報交換インフラの標準化へ！

流通業界の枠を超えて、通信インフラが統合されれば
中小企業も含め、さらなる効率化・効果拡大が望める！





<http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/>